

藤島地域の0歳児56人 3年連続、三川町を下回る

平成27年度に出生した藤島地域の子どもの数は56人で、過去最少となりました(住民基
本台帳平成28年3月31日現在)。

3年連続で三川町を下回っています。

長沼小学校では、3・4年生及び5・6年生が複式学級となっています。

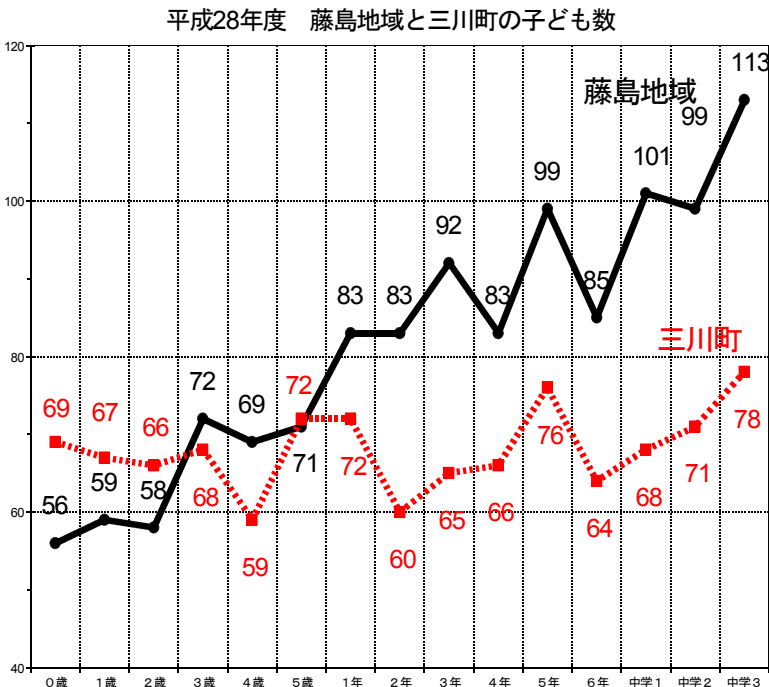
平成大合併のマイナスの影響

市町村合併により、藤島地区は中心機能を失い、渡前地区は鶴岡市街地に吸収される形で減少が大きくなっており、平成大合併のマイナスの影響が深刻です。

地区別子どもの数 (平成28年3月31日小学校別生徒数(平成28年4月8日) 中学校生徒数(平成28年4月7日))

	0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳							1年 2年 3年 4年 5年 6年																																								
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計																																			
藤島	12	11	23	16	15	31	15	17	28	13	15	28	25	11	36	藤島小	26	30	56	23	31	54	25	20	45	20	29	49	24	23	47	24	33	57	藤島中	47	54	101	58	41	99	54	59	113	合計	101	99	113
八栄島	2	4	6	1	4	5	2	5	7	3	4	7	5	2	7	4	5	9	長沼小	5	2	7	5	2	7	3	1	4	3	7	10	2	2	4	合計	83	83	92	83	99	85							
長沼	5	3	8	2	4	6	3	5	8	4	2	6	3	6	9	渡前小	6	5	11	8	6	14	11	6	17	5	8	13	9	4	13	合計	83	83	92	83	99	85										
渡前	1	6	7	2	3	5	5	10	15	3	4	7	3	4	7	東栄小	4	5	9	5	6	11	9	9	18	5	6	11	5	6	11	合計	83	83	92	83	99	85										
東栄	7	5	12	7	5	12	6	3	9	5	8	13	5	5	10	合計	41	42	83	41	42	83	44	38	82	50	40	90	40	45	85	合計	83	83	92	83	99	85										
合計	56	59	115	58	72	130	69	71	140	71	10	81	10	5	15	合計	27	29	56	28	31	59	31	38	69	40	31	71	40	31	71	合計	83	83	92	83	99	85										

※複式学級: 国の基準では、2個学年あわせて1年生を含むときは8人以下、それ以外では16人以下



平成大合併とは何だったのか②
住民の意思を問うことなく
町長専決処分で新鶴岡市が誕生

庄内では最初、2001年8月に14市町村で庄内地域市町村合併研究会を設置して庄内一本化の検討が始められました。遊佐町出身の総務省の合併担当の課長補佐による「市町村合併待ったなし」と題した研修会が、2002年3月に飽海4町で、4月に庄内市町村議長会で開催され、「合併の動きがあまりにも遅い」と叱咤しました。

それまで消極的だった合併の動きが加速し、庄内北部では2002年8月に酒田市など7市町で庄内北部地域合併協議会(任意)を設置。その後余目・立川町が離脱し、翌年2月に5市町で法定協議会を設置。

その後水道事業などを理由に遊佐町が離脱し、2004年11月に4市町で法定協議会を

設置。その後余目・立川町が離脱し、翌年2月に5市町で法定協議会を設置。その後水道事業などを理由に遊佐町が離脱し、2004年11月に4市町で法定協議会を

12月の各市町村議会での合併議案の議決では、羽黒町議会は審議未了、廃案となり合併が不成立となりました。

しかし、一転して翌年1月14日に町長が異例の専決処分を併合を認め、そして10月に新鶴岡市が誕生しました。

(つづく)

「戦争法廃止を求め統一署名」藤島で1636筆(4月4日)
ご協力に心から感謝します。まだの方は4月中旬までお願いします。

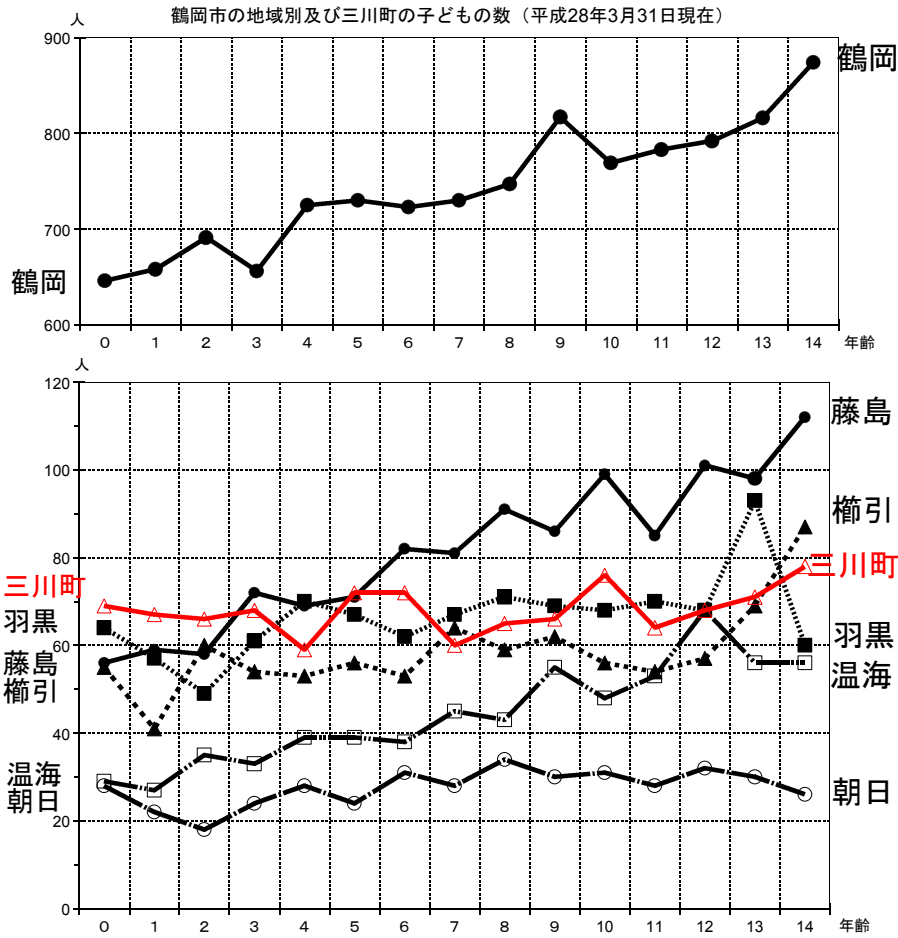
鶴岡市の地域別子ども数（平成28年3月31日）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
鶴岡	男	323	315	332	318	370	358	390	384	412	407	376	420	400	417	457
	女	323	343	359	338	355	372	333	346	335	410	393	363	392	399	417
	計	646	658	691	656	725	730	723	730	747	817	769	783	792	816	874
藤島	男	27	28	31	38	32	40	41	39	45	41	50	40	47	58	53
	女	29	31	27	34	37	31	41	42	46	45	49	45	54	40	59
	計	56	59	58	72	69	71	82	81	91	86	99	85	101	98	112
羽黒	男	39	35	27	30	36	32	30	35	34	29	37	38	43	49	32
	女	25	22	22	31	34	35	32	32	37	40	31	32	25	44	28
	計	64	57	49	61	70	67	62	67	71	69	68	70	68	93	60
榊引	男	22	16	28	30	33	25	26	29	33	31	28	29	31	40	45
	女	33	25	32	24	20	31	27	35	26	31	28	25	26	29	42
	計	55	41	60	54	53	56	53	64	59	62	56	54	57	69	87
朝日	男	13	10	11	15	15	10	17	15	16	13	19	13	20	16	16
	女	15	12	7	9	13	14	14	13	18	17	12	15	12	14	10
	計	28	22	18	24	28	24	31	28	34	30	31	28	32	30	26
温海	男	18	15	19	12	14	20	17	21	20	24	25	30	37	36	26
	女	11	12	16	21	25	19	21	24	23	31	23	23	31	20	30
	計	29	27	35	33	39	39	38	45	43	55	48	53	68	56	56
合計	男	442	419	448	443	500	485	521	523	560	545	535	570	578	616	629
	女	436	445	463	457	484	502	468	492	485	574	536	503	540	546	586
	計	878	864	911	900	984	987	989	1015	1045	1119	1071	1073	1118	1162	1215

三川町の子ども数（平成28年3月31日）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
三川町	男	41	36	32	36	28	41	38	41	32	28	41	33	36	40	39
	女	28	31	34	32	31	31	34	19	33	38	35	31	32	31	39
	計	69	67	66	68	59	72	72	60	65	66	76	64	68	71	78

鶴岡市の地域別及び三川町の子ども数（平成28年3月31日現在）



旧町村の出生数鶴岡市 藤島除き回復傾向 三川町を3年連続下回る

平成27年度に出生した鶴岡市の子ども数は878人で、過去最少だった昨年度を14人上回りました（住民基本台帳平成28年3月31日現在）。

地域別では1歳児と比べ鶴岡△12人、藤島△3人と減少し、羽黒+7人、榊引+14人、

朝日+6人、温海+2人と増えました。

藤島地域は三川町を3年連続で下回りました。

東田川の郡都であった旧藤島町が「平成の大合併」で中心機能を失い、衰退が著しく、旧町村への地域内分権が大きな課題です。

平成大合併とは何だったのか② 住民の意思を問うことなく 町長専決処分で新鶴岡市が誕生

庄内では最初、2001年8月に14市町村で庄内地域市町村合併研究会を設置して庄内一本化の検討が始められました。がやがて分裂。

遊佐町出身の総務省の合併担当の課長補佐による「市町村合併待ったなし」と題した研修会が、2002年3月に飽海4町で、4月に庄内市町村議会議長会で開催され、「合併の動きがあまりにも遅い」と叱咤しました。

それまで消極的だった合併の動きが加速し、庄内北部では2002年8月に酒田市など7市町で庄内北部地域合併協議会（任意）を設置。その後余目・立川町が離脱し、翌年2月に5市町で法定協議会を設置。

その後水道事業などを理由に遊佐町が離脱し、2004年11月に4市町で法定協議会を

10月に7市町村が法定協議会に移行し、2004年10月の各市町村議会の合併議案の議決では、三川町議会が合併を否決。三川町を除く南庄内合併協議会に移行しました。

12月の各市町村議会の合併議案の議決では、羽黒町議会は審議未了、廃案となり合併が不成立となりました。

しかし、一転して翌年1月14日に町長が異例の専決処分を併合を決め、そして10月に新鶴岡市が誕生しました。

（つづく）

「戦争法廃止を求め統一署名」藤島で1636筆（4月4日）
ご協力に心から感謝します。まだの方は4月中旬までお願いします。

『読書のまち鶴岡』

中町・成澤 功

1万3211人。市民団体『読書のまち鶴岡』宣言をすすめる会（以下『読書のまち』）

が、市に宣言の制定を求めため市民から得た署名の総数である。

市の人口の約10%にあたる数字である。

会は、署名を添えて請願を3月議会に提出した。しかし、11日の

市議会市民文教常任委員会、24日の本会議で不採択となった。

「鶴岡には多様な分野の文化がある。ひとつ認めれば今後、議会に提出された署名はすべて認めねばならなくなる。趣旨には賛同するが。」

なんだか奥歯に物が挟まったような反対理由である。

私のよく存じ上げる市議の一人は「読書のまち」に全面的に賛同し、多くの友人知己を戸別訪問して署名簿に住所氏名を書いて貰った。しかるに市議会の場においては不採択の立場に廻ったのである。所属する会派のきびしい縛りがあったのです。

ここで余談ですが、地方議会、国会などでハードな議案、つまり各自自治体や国家の運命を左右するような予算や、国で言えば安保、原発、基地問題等については、党派の一致団結の行動が望まれるが、文化面といったソフト

の議案を討議する場合、党派の拘束からあつさり開放してもらった方がよいのではないか。

採択賛成議員はわずか4名。何かと野党色の強いメンバーなので与党から敬遠された

のかも。私の斜め方向からの見方です。与党の皆さん、料簡が狭い

ねえ。

1月5日、市主催の藤島地域新年祝賀会に私も出席。佐藤文一議長に会う機会があり、

『読書のまち』に議長として賛同し、制定に向けて尽力してほしいとお願ひした。

昨年中に市議会事務局を通じて私が出して

おいた封書は読んでくれたとの事だった。

その中に「周平のお母さんは朝日村出身、

佐藤議長と同郷じゃありませんか」との文言を入れてある。

『読書のまち』の黒羽根会長が3月31日付の庄内日報に見解を載せている。

その中に、肥田美代子さんという元国会議員のエピソードを記述している。

彼女は、読書は票にならないと周りから忠告されながらも、党派を超えて支持者を増やし、議員提出法案として「学校図書館法」の改正を提案し、6年の歳月をかけて衆参本会議で成立させた。

市議会議員の皆さん、党派という狭い穴から飛び出して、鶴岡の肥田美代子になってください。

読書という文化の基盤を鶴岡の地で守り抜く強い意志で、私たちと行動を共にしてください。期待しています。

読書という文化の基盤を鶴岡の地で守り抜く強い意志で、私たちと行動を共にしてください。期待しています。

読書という文化の基盤を鶴岡の地で守り抜く強い意志で、私たちと行動を共にしてください。期待しています。

読書という文化の基盤を鶴岡の地で守り抜く強い意志で、私たちと行動を共にしてください。期待しています。

読書という文化の基盤を鶴岡の地で守り抜く強い意志で、私たちと行動を共にしてください。期待しています。

読書という文化の基盤を鶴岡の地で守り抜く強い意志で、私たちと行動を共にしてください。期待しています。

読書という文化の基盤を鶴岡の地で守り抜く強い意志で、私たちと行動を共にしてください。期待しています。

辺野古新基地建設の異常な目的

普天間に代る基地などという生易しいものではない②

—しんぶん赤旗を読んで— 青山崇



市覇那に於ける演説の三氏三哲不
破人た

第1に、殴り込み部隊としての海兵隊基地の圧倒的な強化。

海兵隊が他国を攻撃する方法は①上陸用舟艇で海岸上陸②垂直離着陸機オスプレイのよ

部隊投入という2つの方法がある。

いまは②が主流になっており、オスプレイ配備で殴り込み体制の強化である。日本防衛の抑止力強化などでは決してない。

第2に、新基地の運用年数40年、耐用年数200年という異常なものである。

米国防総省が97年に作成した『日本国沖縄における普天間海兵隊航空基地の移設のための国防総省の運用条件及び運用構想』に「辺

野古の）海上施設およびすべての関連構造物は、40年の運用年数と200年の耐用年数を持つようにする」と明記している。なんと200年も沖縄に居座るつもりである。

帝国主義時代でも外国が領土を借りる租借地は最長でも99年でした。当時は半永久的と考えられた年数でしょう。それを100年も上回ることになる脅威の年数であり永久とも言えるのである。

しかし、大臣を辞めてから随分なるじやないですか。サツの調べはどうなってるんでしょうかネー。選挙に影響するからとストツプさせられたんじゃないでしょうネ。なにしろこの政権、自分らに不利と見ればテレビから表立った人たちが消えてゆく時代にしたからサ。怖いですよ。



よく眠る法

春眠暁を覚えず 処々啼鳥を聞く・とは、今頃のことでしょう。

上手に眠れないとかで国会を休んでいる人は、今でも同じ状況なのだろうか。お医者さんは患者さんの寝姿を見たから診断書を書いたんでしようネー。しかも2ヶ月経たないと上手く寝れないと言った。

▲ゲスはこんな時、診断書はナンボだもんだろうナンテ考えるんですがネー。しかもどつちから貰ったお金から出るんだろうなんてサ。だって政治資金の収支報告書には、昼飯の後で甘い物を食ったのでさえ載っていると週刊誌で見たことがあるから。

▲まさか、当人もこんなことを考えているから寝つきが悪いんだナンテことはないでしょうが、どっちにしてもお金が心配なんでシヨ。

勘定で眠れないなんて贅沢ですよ。全部おっぴろげてサツに調べてもらいなヨ。そしたらゆっくり眠られること請け合いだぜ。なあーみんな。(石川)